



令和元年度文化祭
「一笑懸命」

11月6日(水)に、本校体育館をメイン会場に文化祭が開催されました。テーマは、「一笑懸命」。生物工学科1年の鶴喰咲里奈さんが考案しました。書道部のパフォーマンスを皮切りにステージ部門の発表が始まりました。ステージ部門10団体、展示部門10団体、模擬店部門2団体の参加があり、各クラスや団体のまとまりを感じさせる大変素晴らしい発表となりました。特にステージ部門は、歌、ダンス、映像作品、演劇と、市来農芸高校生の力強さが感じられました。また、恒例の職員劇も見応えがある仕上がりとなりました。串木野高校・市来農芸高校の吹奏楽部による演奏でプログラムを最後飾りました。



第201号
令和元年12月2日
編集・発行
市来農芸高校広報係
いちき串木野市湊町160
Tel (0996) 36-2341
発行責任者
校長 倉岡 八郎



生産物即売会
ありがとうございました

11月15日(金)に生産物即売会が開催されました。来場者数延べ950名もの方々に足を運んでいただき、大盛況となりました。本校教育の学習の成果を一般公開するとともに、生徒たちが学習教材として栽培した野菜、鶏卵、加工品、鉢花、花苗、みかん、豆腐などの生産物を即売することで、地域の本校への理解を深め、本校の活性化を図る目的で実施されました。

また、PTAバザーではそれぞれの保護者が持ち寄った日用品の販売や赤飯、農芸汁、ふくれ菓子、豚バラ丼など美味しい品々を提供していただき、お客様だけでなく、仕事を頑張った生徒たちもその美味しさに、お腹が満たされ幸せそうでした。遠方からも沢山の方が来てくださり、感謝申し上げます。来年も今年以上に沢山のお客様に喜んでいただけるよう頑張ります。



2年生職場体験学習
感想文より

農業経営科2年 吉永 愛翔(清水中出身)
この4日間はとても刺激的だった。農業と離れ、まったく知らない医療の勉強がすっかりできた。体験というよりは、ほとんど見学だったが、「コミュニケーションの必要性や、「報連相」の大事さがより明確になり、しっかりと目に焼き付けることが出来た。命に向き合い患者の対応をするこのような職業はやり甲斐があり、かつ格好よかった。私は、自分は理学療法士を目指しており、将来専門学校、または大学に進むか、今後の進路選択についてもアドバイスを頂き、幅が広がった。体力勝負でもあり、また、患者と向き合うことは簡単なようで難しく、これから身につけていかなければならない今後の自分の課題になった。このように、今回の職場体験学習は新しい自分を見つけることができ、進路選択も広がり、より多くのことを吸収することができた。とても楽しく刺激的で、4日間があつという間だった。自分の夢を叶えるために今できることを考えていきたい。

生物工学科2年 諏訪下 心(甲東中出身)
私は、動物園は動物と飼育員さんだけで運営している

と思っていました。ですが、実際は、病院があり獣医がいて、動物になにかあった時に園内ですぐ治療ができるよう整備されていて、びっくりしました。他にも動物園の環境整備のための清掃員、壊れた物の補修を担当する人、一番驚いたのは教育普及系の職員でした。教育普及系は、イベント時のサポートをし、絶滅危惧種について知ってもらうために、説明などの活動を行います。私は、こういう機会がないと、こういう方々の存在に気づくことができなかったと思います。このように、動物園は多くの職員の手によって支えられ運営されていることを知ることができました。

また、動物の食事の準備では、動物の口に合わせで作ることを教えていただきました。チンパンジーのように口のできましたが、コウモリのように口の小さい動物用に切るのは、難しく時間がかかってしまいました。日頃から家で料理作りをしておくべきだったと後悔しました。大切なことを学び気づくことができたと思っています。

生活科2年 川畑 晴花(日吉中出身)
私は、今回「おかし畑馬場」で体験を行いました。よく利用する店でしたが、製造の場に入るのは初めてでした。いつもお店に売られているかん、パイ、生クリーム大



福などの作り方を見せてもらいました。私たちが普段作るお菓子の何倍もの量を作ることにびっくりしました。そして、作って終わりではなく一つ一つ綺麗にラッピングをするのは予想以上に時間もかかり集中力を使うので大変でした。また、商品によってもラッピングの仕方や種類も違うので慣れるまで時間がかかったり失敗したりしました。それでも任された仕事を時間以内に終わらせることができたので良かったと思います。それから店の裏の工房にある機械の使用の方についても教えてもらいました。機械はとも大きくてびっくりしました。普段は見ることができないのでよい経験になりました。そして職場体験の最後の日には、シフォンケーキと一緒に作りました。いつも一人で焼くと失敗しますが、今回はしっかりと焼けました。生クリームを薄く塗ることが難しかったが、丁寧に教えてもらい、なんとか上手にトッピングすることができました。家に持ち帰り、家族と一緒に食べた時「上手にできたね」の親からの言葉は嬉しかったので。今回の体験では仕事の大変さや楽しさを学ぶことができました。

全国農業アクション大賞 奨励賞受賞

生物工学科2年
中川 桃子(海星中出身)

「ツバキプロジェクト」これは平成28年度に始まり今年、4年目になります。このプロジェクトは「家畜にも人にも優しい畜舎のありかたを考えて」をテーマに始まりました。そして、今回のプロジェクトの集大成として3年間の思いをのせて全国農業アクション大賞の選考に向けて発表しました。しかし、思いを伝えきれず奨励賞という結果で終わってしまいました。

した。その時、先輩への申し訳なさと、悔しさで張り裂けそうでした。それと同時に自分がツバキプロジェクトにいてもいいのかと考えてしまいました。しかし、今やめる事は逃げることだと思いましたが。そして、先輩方の恩返しとして今一番しなければならぬのはツバキプロジェクトを続けていくことだと思いました。今回の大会で他学校がどれほどプロジェクトに日々努力を重ねているかを知るとても良い機

農芸市場だより

12月の農芸市場は、3、10、17日火曜日です。

販売時間：14:30～

※ 24日は休み。

※ 1月は14日から開始予定です。

販売物

<野菜>

- ・ブロッコリー、カリフラワー 各100円
- ・トマト 150円
- ・ヤマイモ 400円/kg

<卵>

- ・Mサイズ 200円

<果樹>

- ・温州ミカン 200円

<加工品>

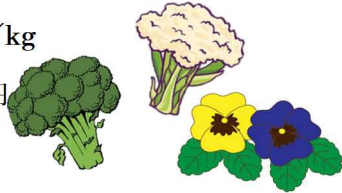
- ・豚味噌シリーズ 缶類各250円、瓶類各200円
- ・ウメドリンク 100円、ジャム類 200円

<鉢花>

- ・シクラメン 700円、ガーデン、シクラメン 200円
- ・ポインセチア 400円

<花苗>

- ・パンジー、ビオラ、キンギョソウ 各50円



教諭 藤田 美保子

会となりました。だから、私現ツバキ班として毎日採卵鶏に囲まれる日々を送り、努力を重ねていきたいと思っています。

職員コラム

4月に市来農芸高に赴任して7か月が過ぎました。前任の種子島高校にも生物生産科がありましたので、だいたいの農業高校のイメージを描いていましたが、本校ならではの教育活動に時々驚かされます。

赴任早々の印象的な風景は畜産部でした。のどかな春休みの一日、でこぼこの草地を生徒達が延々と牛を駆り立てて運動させていました。朝7時から畜産部の活動は始まるとのこと。当然動物に休みはありません。毎日朝早くから世話しているからこそ、立派な賞が取れるのだと改めて感じました。学校に水田があるのも驚きでした。新米を食べさせてもらいましたが、噛むほどに元気が出てきました。八十八の期間が



かけられていと納得する滋味に富んだ優しい味でした。

話は変わりますが、里山の風景は現代人の心を癒やしてくれます。里山には手つかずの自然があふれているからと思いがちですがそうではありません。人々がこつこつと手を入れて創り出した風景だから心と和むのだと知りました。

最近生徒たちとより深く知り合うことが増えて、一人一人の内面の成長ぶりも分かるようになりました。AIの時代になっても、野菜も花も動物も、そして人も手をかけられて育つものだと実感しながら、このような環境で過ごせることに日々感謝しています。

12月行事予定

- ～3日 (火) 期末考査
薬物乱用防止教室
卒業アルバム撮影(部活動)
- 10日 (火) 子牛せり市
- 12日 (木) 双葉寮クリスマス会 (予定)
- 13日 (金) 青春市場 in ドルフィンポート
- 16日 (月) クラスマッチ
- 18日 (水) 鹿児島・日置地区専門高校フェスタ
- 19日 (木) 第7回文字力テスト
- 20日 (金) 学期末PTA
- 24日 (火) 終業式